

人権啓発センター だより

平成26年9月

No.9

(公財) 高知県人権啓発センター



共感することの大切さ

人間の心の働きの中では、感情の方が理性よりも基本的な働きであり、心の土台や根っこの部分に深く根ざしています。相手の感情を、あたかも自分自身の感情のごとく感じ取ることである共感とは、心をつなぐだけでなく、心を支える働きもしているのです。

同和教育では、自己の人間としての思いや願いを出し合い、共感していく取り組みを大切にしました。このような心の交流が、仲間の思いや願いを知るだけでなくお互いを励ますことになるということを体験していったのです。つまり、自己の人間としての願いに気づき、他者も自分と同様のかけがえのない存在であることを感じ取り、人間的な交流関係に包まれて生きることの素晴らしさを実感させることを重視したのです。こうした土台があってこそ、人間らしく生きたいとする願いを押し潰すものへの怒りを主体的に感じ取り、差別は他人事ではなく、自分たちの生き方と関わっていることが理解されると考えてきたのです。

(事務局長 福田)

人権あれこれ

“人は何のために生まれてくるのだろうか？” 1994年に、ノーベル文学賞を受賞した愛媛県出身の大江健三郎さんが、臆することなく

『人間は他人の痛みがわかるようになるために、この世に生まれてくるのです』

と言っている。

この言葉にふれたとき、(へえー、ノーベル賞をもらった人も、そんなことを考えているのか?)と、正直なところ驚いてしまった。

庶民にはわかりにくい高尚なことで評価され、賞をもらったんだろうと思い込んでいただけに、自分と同じことを考え、その大事さを人類に伝えようとしていることを知り、とてもうれしく感じた。

今、世界中で最もよく読まれている日本の小説家・村上春樹さんも、“虐げられ、苦しんでいる弱者の視点からみえたものを小説にしていかないと、表現する意味も値打ちもない”と演説していた。

重なって、さらにうれしくなった！

(研修講師 堀川)



じんけんライブラリー

一押し本

「いのちをいただく」

文／内田 美智子 絵／諸江 和美 監修／佐藤 剛史
西日本新聞社（1,200円＋税）

私たちは食べ物を食べて生きている。肉も魚も野菜も米も、その食べ物にはすべて命が存在している。人が生きるということはその命をいただくことである。殺され、解体されるために食肉センターに運ばれてきた牛の「みいちゃん」について語りながら、「私たちの命は多くの命に支えられていること」を教えてください。食肉加工センターの仕事に対する偏見も払拭してくれます。

（研修啓発課 山本）



新しく購入したDVDを紹介します

タイトル	企画	内容
おくりびと （131分）	おくりびと制作委員会	第81回アカデミー賞外国語映画賞受賞。触れがたいイメージの「納棺師」という職業をテーマにしながらも、ユーモアを絶妙に散りばめて愛すること生きること紡ぎだす異色の感動作。
秋桜—コスモスの咲く日 （34分）	北九州市、北九州市教育委員会、北九州市人権問題啓発推進協議会	「目に見えにくい違い」の一つとして、発達障がいのある人の生きづらさや痛みを伝えるとともに、「違い」が生み出すプラスのエネルギーを美しく群生するコスモスの花々と重ね、「ともに生きることの喜び」を描いている。
現代社会と人権シリーズ 児童虐待と子どもの人権 （28分）	東映	虐待を受けた子どもや、児童福祉施設など関係者を取材し、虐待の現状とその背景を描くとともに、よりよい子育てのありかたを探り、子どもの人権を守るために私たちは何ができるかを考えさせてくれる。
現代社会と人権シリーズ インターネットと人権 （22分）	東映	インターネットに関して起こっているいくつかの実際の人権侵害の当事者を取材し、事件の背景やインターネットの特性について考え、情報化社会のなかで人権と向き合うために私たちがどうすべきか探っていく。



事業報告

ピックアップ

平成26年度人権啓発研修ヒューマンパワー育成講座(管理職研修)を開催しました

「企業の社会的責任(CSR)と人権」をテーマとし、人権の視点を企業・団体等の活動に取り入れる重要性について、管理・監督の立場の方を対象とした講座を、7月24日(木)に開講しました。



経営倫理実践研究センターの池田 耕一さんによる基調講演では、CSRの経緯や背景、日本と世界の状況等と、パワハラを例に職場の人権問題には管理職等の責任者の対応が重要であるということをお話いただきました。

先進的な取り組みを実践する企業の、大成建設(株)塩入 徹弥さん、(株)クボタ池永寛幸さんには、女性の活躍推進、仕事と育児・介護を両立するための支援、ハラスメント相談体制等の具体的な取り組み内容を発表していただきました。

(企画啓発課 谷脇)

ピックアップ

ミニ番組「心呼吸しよう」を制作・テレビ放送しています

今年度も、ミニ番組を制作し、テレビ放送する事業を行っています。

この事業は、県民の皆様到人権啓発活動をより身近なものとして感じてもらえるよう、県内の関係機関や団体・地域住民のみなさんが、人権啓発活動を行っている様子を紹介する番組を制作・放送するものです。

再放送を含め全12回放送されますので、みなさんでぜひご覧ください。

●番組名：心呼吸しよう

●放送テレビ局：KSSさんさんテレビ

●放送日時：平成26年8月～平成27年2月(12月を除く)毎月1回

最終日曜日 午後5時25分～午後5時30分

※再放送は、本放送の翌週土曜日 午前9時55分～午前10時00分



《番組を見逃された方は、さんさんテレビのホームページにて過去放送分をご覧になることができます。》

(企画啓発課 國松)



Information お知らせ

イベント紹介

スポーツ組織と連携・協力した人権啓発活動事業を開催します

いじめなどの身近な人権問題について、県民の皆さまが関心を持ち、理解と認識を深めていただくための人権啓発活動の一環として、高知ファイティングドッグスと連携・協力して、四国アイランドリーグPlus 2014において冠協賛試合を開催します。

来場者に高知ファイティングドッグスのクリアホルダーとうちわのプレゼントがあります。また、試合終了後、アンケートに協力いただいた方先着100名様にはサインボールのプレゼントもあります。

ご家族、ご友人等とお誘い合わせのうえ、ぜひご来場下さい。

- 日 時：平成26年9月12日（金） 18：00 試合開始
※雨天中止の場合は改めて実施
- 試 合：高知ファイティングドッグス VS 香川オリーブガイナース
- 場 所：高知球場（高知市大原町158）
- 参 加 費：要観戦料
- 申 込：不要

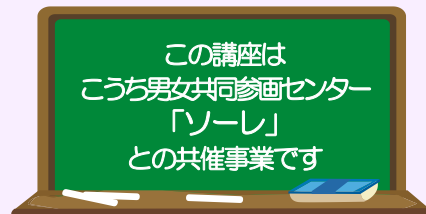
（企画啓発課 林）



平成26年度人権啓発研修ハートフルセミナー【第3講座】

性暴力はいつ自分の身にふりかかるかもしれません。被害当事者の小林美佳さんと共に、それぞれの立場で、どのような係わりができるか考えます。多くの方のご参加をお待ちしております。

- 日 時：平成26年9月27日（土） 14：00～16：00
- 会 場：高知県教育センター分館 大講義室
- 講 師：小林 美佳さん
- 演 題：「性犯罪被害にあうということ～身近にある性暴力～」
- 参 加 費：無料（先着120名）
- 申込方法等：下記の問い合わせ先までご連絡ください



（企画啓発課 谷脇）



じんけんライブラリー 利用案内

図書、視聴覚教材の貸し出しを無料で
行っていますのでぜひご利用ください

- 図書
1人5冊以内で、期間は2週間以内です。
 - ビデオ・DVD
1人2巻以内で、期間は2週間以内です。
- ※ 直接来所できない場合は送付もいたします。
（送料は利用者のご負担となります）



ホール案内

各種研修会等にご利用ください

- 収容人員
270名（机を使用する場合は180名）
- 設備
放送設備、スクリーン、冷暖房
- その他
使用料、利用時間等についてはHPでご確認ください。

問い合わせ先

〒780-0870 高知市本町4丁目1番37号

公益財団法人 高知県人権啓発センター

E-mail : center@kochi-jinken.or.jp

TEL 088-821-4681 FAX 088-821-4440

HP : <http://www.kochi-jinken.or.jp>